

(様式1・小学校用①)

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立長栄小学校

(令和2年2月7日作成)

1 学校教育目標 ○学校教育目標 よく考える子・思いやりのある子・たくましい子 ○目指す児童像 夢に向かってがんばり続ける長栄っ子 ○目指す学校像 やる気・笑顔・優しさ溢れる長栄小 ○学校経営方針 児童一人ひとりを大切にし、豊かな心と学びに向かう力、たくましく生きる力を伸ばす学校教育の実現	
2 重点目標・努力目標 1「幼保小中を一貫した教育」と「特別の教科 道徳」等の充実 2「チーム長栄」として一貫した教育実践 3「美しい学校」安全・安心で美しく、心潤う環境整備 4「ふるさとで子どもを育てる」家庭と地域と協働する学校運営へ	3 前年度の成果と課題 成果 ○幼保小中を一貫した教育に関する取組において、同一中学校で連携し、様々な取り組みの下、異校種接続がスムーズに行われた。 ○教育環境の整備を進め、児童が安全に安心して教育活動を行うことができた。 課題 ●家庭・地域との連携のさらなる充実を図る。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○学校教育目標達成に向けて、全教職員が協働し、組織的、計画的に教育活動を推進することができた。 ●教職員の特性を生かした適材適所の校務分掌と、組織の改善を更に進める。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○「特別の教科 道徳」の研究を深め、教職員全体で指導法・評価の在り方について共通理解・共通指導ができ、成果を発表することができた。 ●研修を軸とした、教職員の資質および授業力の向上のためのPDCAサイクルの更なる推進を図る。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○安全・安心に生活できるよう、保健管理及び安全管理を行うことができた。また、中学校区合同での避難訓練や地域の避難所運営訓練への参加等を通して、緊急事態発生時の対応について理解を進めることができた。 ●緊急事態発生時における避難体制について、町会をはじめとする地域とのより密接な連携を推進する。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報の適切な管理及び保護に努めることができた。また施設設備の管理を行い迅速な修繕を実施した。 ●施設の整備のさらなる充実と個人情報の管理体制の推進を図っていく。
	⑤地域との連携開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会、学校評議員制度の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校公開、ウエルカムゲストデイズ、音読朝会、音楽朝会等、多くの方が学校を訪問する機会をつくることができた。学校だよりの配付、HPの工夫改善と見直しを図り、フェイスブックの更新に努めた。 ●地域とのつながりのさらなる充実を図る。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じた教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○中学校区3校の定期的な連絡協議会を開催した。また幼保を交えた連絡会や研修会を行った。 ●草加市幼保小接続期スタートカリキュラムの充実と適正な実施や、連携の成果を15年間を見通したカリキュラムの編成に生かす。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じた教育課程の編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<p>○教育課程計画に基づき、教育活動の実施・評価を行い、児童の力の伸長を図る事ができた。また、授業時数の配当も適切に行う事ができた。</p> <p>●教科横断的な教育計画を作成する。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<p>○校内研修を生かして、各教科において話し合い活動や振り返りの充実を図り、授業改善に取り組んだ。</p> <p>●主体的・対話的で深い学びのある授業実践と児童の活動の過程を大切に評価の在り方の研究を進める。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<p>○草加市教育委員会の指導を受け、3学級での事前授業と4学級での公開授業を実施し、授業力の向上を図った。</p> <p>●教育活動全体を通しての道徳的実践力のさらなる育成を進める。</p>
	④外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<p>○学級担任がALT、小中連携教員と分担して指導し、英語に親しみ、楽しく活動することができた。</p> <p>●学級担任を中心にした授業展開を研究し、ALTと連携教員との連携と充実を図る。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<p>○学級活動、学校行事、クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として健全な生活態度を育んだ。</p> <p>●学級会、学級活動の研究を深める。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○体験活動を計画的・積極的に授業に組み入れ、人や自然、地域とのふれあいによる体験から実感した課題解決に向けた学びを充実させた。</p> <p>●児童、地域の実態に沿った課題設定の精選と見直しを図る。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<p>○組織として共通理解のもと、児童一人ひとりを大切に生徒指導を行った。また、他機関と連携した教育相談の充実を図ることができた。</p> <p>●学年・学級を超えた生徒指導への共通認識を確実に行う。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<p>○各学年の発達段階に応じて、教科や領域と絡めながら、人や自然、地域との関わり等をもつことができた。</p> <p>●中学校との接続、及びキャリア発達に応じた年間指導計画を作成する。</p>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<p>○一人ひとりの児童の特性に応じたきめ細やかな指導の推進と全教員の共通理解を図る研修会の充実が図れた。</p> <p>●関係諸機関及び家庭との一層の連携及び職員の共通理解の深化を図る。</p>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<p>○司書教諭を中心に学校司書及び草加市中央図書館サービスの有効な活用と充実を図った。また読み聞かせボランティアの活用を行った。</p> <p>●読書好きな児童を育成する取組を推進する。</p>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<p>○授業等でICT機器の積極的・有効的な活用を図ることができた。</p> <p>●更なるICTの有効活用の研究を継続する。</p>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	A	<p>○教育課程計画に基づき、教育活動の実施・評価を行い、児童の力の伸長を図る事ができた。また、授業時数の配当も適切に行う事ができた。</p> <p>●校内研修の充実と各教科との関連の深化を図る。</p>

草加市立長栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	○学習指導	・埼玉県学力学習状況調査等の結果の活用 ・実態に応じた指導	A	○埼玉県学力学習状況調査等の結果を踏まえ、組織として結果分析、課題解決に向けて取り組むことができた。 ●児童一人ひとりの伸びを把握し、9年間の学びを系統立てた指導を実施する。
	○幼保小中を一貫した教育	・幼保小中学校（園）との連携の推進	B	○作品展や連絡協議会、合同給食等を通し、地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校との交流を図ることができた。また、家庭学習強化週間、ノーメディアデーを設定し、中学校区3校合同で取り組むことができた。 ●連携の継続とさらなる改善を図る。
	○家庭・地域との協働	・家庭・地域とともに児童を育てる学校運営	A	○学校応援団、平成塾の方々による学校行事や授業への協力や、学校評議員会、中学校区での安全安心委員会の開催等を通して、家庭・地域と共通理解のもと、児童の教育活動を進めることができた。 ●協働体制のさらなる推進に向けた取組を工夫する。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- 全職員が学校経営目標の理念のもと、共通理解、共通実践し、学校経営にあたることができた。特に、教員の授業力の向上、生徒指導力の向上・教育相談の充実、基本的な生活習慣の確立については、一歩前進することができた。
また、家庭・地域の理解や協力のもと、家庭学習の充実、安全・安心な教育環境の推進を行うことができた。
- 本校の特色であるペアスクールの新田中学校や地域の異校種との交流を更に深め、一貫教育を推進することができた。特に開校40周年を迎え、行事や式典等への取組を通して、小中の連携を深めることができた。
- 「特別の教科 道徳」の研究委嘱を受け、「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して、共通理解のもと、授業改善につなげることができた。また、発表会では、研究の成果を広く発信することができた。
- 教育環境が整備され、安全・安心な環境の中、児童が落ち着いて学習に取り組んでいる。

6 次年度の改善策

- 幼保小中を一貫した教育の推進をさらに進め、連携を一層深めていきたい。また、学校運営協議会の発足に伴い、家庭・地域との信頼関係を大切に、三者連携のもと児童の未来を見据えた教育の充実を進めていく。
- 環境美化のさらなる充実を目指し、児童に作品掲示を中心に豊かな掲示教育及び清掃活動の充実を図り、豊かな心をはぐくむ。また校地内の美化を目指し、保護者の協力を得て、教育環境をさらに美しくする。
- 「特別の教科 道徳」の研究の成果を各教科に生かし、教育活動全体を通して、道徳的実践力の育成を図る。